

西アジア関連学術論文・出版物

(2009年1月～12月)

このコーナーは、日本における西アジア考古学関連の学術論文ならびに出版物の中で、2009年に公刊された文献を紹介するものです。最新の動向が手軽に参照できる情報源として活用されることを目的とし、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』11号編集委員

edit_jswaa@yahoo.co.jp

- 青柳正規 2009.11『人類文明の黎明と暮れ方』興亡の世界史 00 巻 講談社。
- 赤司千恵 2009.10「ユーフラテス中流域における青銅器時代の植物利用－テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の事例－」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生－西アジア考古学最前線－』159-168 頁 同成社。
- Akanuma, H. 2009.8 Iron Use and Manufacture during the 1st Millennium B.C. at Tell Mastuma: Composition of Iron Objects. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 529-560. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- 足立拓朗 2009.2「夏休み自由研究用ワークシートを活用した博物館利用と博物館連携」『オリエンテ』38号 4-9 頁 古代オリエント博物館。
- 足立拓朗 2009.3「ワークショップにおける博物館連携の可能性について」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』23巻 26-32頁。
- 安倍雅史 2009.10「農耕の開始と失明－レヴァント地方南部初期農耕村落から出土する孔雀石とトラコーマ－」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生－西アジア考古学最前線－』99-115 頁 同成社。
- 有松 唯 2009.10「都市無き複雑社会－前2千年紀イラン北部における埋葬習慣からみた社会構造－」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生－西アジア考古学最前線－』241-266 頁 同成社。
- 有松 唯・三國博子・小川やよい・西秋良宏 2009『東京大学総合博物館考古美術（西アジア）部門所蔵考古資料目録 第9部西アジア各地における購入・採集土器』東京大学総合博物館 標本資料報告 76号。
- 有村 誠 2009.5「2008年の歴史学界－回顧と展望－西アジア・北アフリカ（古代オリエント）2」『史学雑誌』118編5号 287-991 頁。
- 有村 誠 2009.6「西アジアで生まれた農耕文化」『ユーラシア農耕史 3：砂漠・牧場の農耕と風土』23-63 頁 臨川書店。
- 有村 誠 2009.10「アルメニアにおける農耕牧畜の始まり」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生－西アジア考古学最前線－』117-139 頁 同成社。
- 石田恵子 2009.2「灰色磨研水差し形土器」『オリエンテ』38号 1-3 頁 古代オリエント博物館。
- Ishida, K. 2009.8 Chapter 8.1. Seals and Seal Impressions. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 437-458. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Ishida, K. T. Iwasaki and S. Wakita 2009.12 Early Bronze Age Graves around Tell Rumeilah in North Syria. *Bulletin of the Ancient Orient Museum* 28: 65-90.
- 石田恵子・津本英利（編）2009.9『世界の土器の始まりと造形－ドキドキ！土器って面白い！』古代オリエント博物館。
- Iwasaki, T. 2009.3 Celebrating the Museum's 30th Anniversary of Ancient Orient Museum. *Bulletin of Ancient Orient Museum* 28: 1-5.
- Iwasaki, T., S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.) 2009 *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*. *Memoirs of Ancient Orient Museum*, vol.III. Ancient Orient Museum, Tokyo.
- 上杉彰紀 2009.12「ガッガル平原における先・原始文化の変遷」『環境変化とインダス文明 2008年度成果報告書』75-102 頁 総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- 遠藤 仁 2009.3「金属器を用いた石器製作－中エジプト・第3中間期アコリス遺跡の事例－」『西アジア考古学』10号 65-70 頁。
- 遠藤 仁 2009.12「インダス文明石器研究の諸問題：現状と課題」『環境変化とインダス文明 2008年度成果報告書』103-109 頁 総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- 大城道則 2009.3「原始絵画から読み解く古代エジプト文化－ジェベル・エル・＝アラクのナイフハンドルとメトロポリタン美術館ナイフハンドル－」『駒澤大学文学部研究紀要』67号 51-68 頁。
- 大城道則 2009.6『ピラミッド以前の古代エジプト文明』創元社。
- Ohshiro, M. 2009.6 Decoding the Wooden Label of King Djer. *Göttinger Miszellen. Beiträge zur ägyptologischen Diskussion*, Heft 221: 57-64.
- 大城道則 2009.11「古代エジプト先王朝時代におけるナイフハンドルの動物図像について－ナイル河谷の動物たちと原風景」*Biostory* 11: 81-91.
- 大沼克彦 2009.3「セム系部族社会の形成：ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究－文部科学省科学研究費補助金平成17年度発足特定領域研究－」『西アジア考古学』10号 71-75 頁。
- 大沼克彦 2009.8「西アジア前期青銅器時代の石器づくり」『オリエンテ』39号 10-11 頁 古代オリエント博物館。
- 大沼克彦・長谷川敦章 2009.3「農耕と牧畜のはざまに ユーフラテス河中流域の青銅器時代拠点集落－シリア、ビシュリ山系テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の2008年度発掘調査－」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』76-79 頁 日本西アジア考古学会。
- 岡田真弓 2009.9「イスラエルにおけるキリスト教教会堂遺跡の保存と公開－パブリック考古学の視点から－」『オリエンテ』52巻1号 138-158 頁。
- 長田俊樹 編 2009.12『環境変化とインダス文明 2008年度成果報告書』総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- Osada, T. and A. Uesugi (eds.) 2009 *Occasional Paper 7: Linguistics*,

- Archaeology and the Human Past*. Indus Project, Reserch Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto.
- Osada, T. and A. Uesugi (eds.) 2009 *Occasional Paper 8: Linguistics, Archaeology and the Human Past*. Indus Project, Reserch Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto.
- Osada, T. and A. Uesugi (eds.) 2009 *Occasional Paper 9: Linguistics, Archaeology and the Human Past*. Indus Project, Reserch Institute for Humanity and Nature (RIHN), Kyoto.
- 小高敬寛 2009.3 「『西方』のサマッラ土器—その地域性とハラフ土器の成立をめぐって—」『オリエント』51巻2号 1-26頁。
- 小高敬寛 2009.5 「2008年の歴史学界—回顧と展望—西アジア・北アフリカ(古代オリエント)1」『史学雑誌』118編5号 283-287頁。
- 小高敬寛 2009.10 「西アジア新石器時代の倉庫址—テル・エル＝ケルク遺跡の事例—」西秋良宏・木内智康(編)『農耕と都市の発生—西アジア考古学最前線—』47-60頁 同成社。
- 小野塚拓造 2009.3 「鉄器時代の青銅製品・石製品・土製品」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』91-98頁 リトン。
- 小野塚拓造 2009.3 「イスラエル国シャロン平野の初期鉄器時代—テル・ゼロール出土資料を視点に」『筑波大学先史学・考古学研究』20号 21-50頁。
- 門脇誠二 2009.3 「第6回国際古代西アジア考古学会議に参加して」『西アジア考古学』10号 77-82頁。
- 門脇誠二 2009.10 「北ヨルダン、タバカト・アル＝ブーマ遺跡における後期新石器集落の構造：建築物と場の利用パターンに基づく世帯間関係の考察」『オリエント』52巻1号 27-62頁。
- 門脇誠二 2009.11 「西アジア新石器集落の崩壊と再編成：世帯からの展望」西秋良宏・木内智康(編)『農耕と都市の発生』61-82頁 同成社。
- 門脇誠二・久米正吾・西秋良宏 2009.3 「ユーフラテス河中流域の先史時代—第1次調査(2008)」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』57-62頁 日本西アジア考古学会。
- 柏木裕之 2009.3 「エジプト、ダハシュール北遺跡から発見された中王国時代のシャフト墓の掘削行程について」『西アジア考古学』10号 19-31頁。
- 亀井宏行・河江肖刺・塚本敏夫・金谷一郎・岡本篤志 「2006年度ギザ・レーザー・スキヤニング調査報告—ギザのケントカウエス女王墓の再考察と3次元計測による記録作業—」『西アジア考古学』10号 51-63頁。
- 河合望 2009.3 「アイとホルエムヘブ—ポスト・アマルナ時代史の一局面—」『オリエント』51巻2号 27-56頁。
- 河合望 2009.3 「トゥットアଙ୍କアメン王によるカルナク、アメン大神殿の復興について(日本オリエント学会第50回大会要旨)」『オリエント』51巻2号 173-174頁。
- Kawai, N. 2009.11 Theban Tomb 46 and Its Owner, Ramose. In S. D'Auria (ed.), *Offerings to the Discerning Eye: an Egyptological Medley in Honor of Jack A. Josephson, Culture and History of the Ancient Near East*, vol. 38, 209-215. Leiden, Brill.
- Kawai, N. 2009.11 Some Remarks on the Funerary Equipments from the Tomb of Amenhotep III (KV 22). *Valley of the Kings Since Howard Carter, Symposium 4 November 2009: Book of Abstracts*, 18. Supreme Council of Antiquities.
- Kawai, N. and S. Yoshimura 2009.12 Neue Entdeckungen im Nordwesten Sakkaras: Eine Grabkapelle aus dem Neuen Reich und das Grab der Isisnofret. *Sokar* 19: 62-70.
- 木内智康 2009.10 「ハブール土器編年に関する諸問題」西秋良宏・木内智康(編)『農耕と都市の発生—西アジア考古学最前線—』191-212頁 同成社。
- Gibbs, K., S. Kadowaki, A. Allentuck and E. B. Banning 2009.8 Early Bronze I Occupation at Al-Basatin, in Wadi Ziqlab, Northern Jordan. *Bulletin of the American Schools of Oriental Research* 355: 1-20.
- Gibbs, K., S. Kadowaki and E. B. Banning 2009.12 Mid-Holocene Occupations at al-Basatin in Wadi Ziqlab, Northern Jordan. *Antiquity* 322: Project Gallery (<http://www.antiquity.ac.uk/projgall/banning322/>)
- 久米正吾・沼本宏俊 2009.2 「ガーネム・アル＝アリ遺跡直近の前期青銅器時代墳墓群の調査」『Newsletter セム系部族社会の形成』14 11-19頁 科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」。
- 久米正吾・沼本宏俊 2009.3 「ユーフラテス川流域の古代墓を探る—シリア、ビシュリ山系ワディ・シャップート墓域の第1次・2次調査(2008年)—」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』80-85頁 日本西アジア考古学会。
- 栗田伸子・佐藤育子 2009.9 『通商国家カルタゴ』興亡の世界史03巻 講談社。
- 桑原久男 2009.3 「防御施設」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』13-20頁 リトン。
- Koizumi, A., M. Azechi, K. Shirasawa, N. Saito, K. Saito, N. Shigehara, K. Sakaue, Y. Shimizu, H. Baba, A. Yasutake, K. Harada, T. Yoshinaga and A. Ide-Ektessabi 2009.1 Reconstruction of Human Exposure to Heavy Metals Using Synchrotron Radiation Microbeams in Prehistoric and Modern Humans. *Environ Health Preventive Medicine* 14: 52-59.
- 小泉龍人 2009.6 「ウバイド彩文土器の吸着実験—操窯と昇温について—」『日本西アジア考古学会第14回総会・大会要旨集』26-31頁 日本西アジア考古学会。
- 小泉龍人・齋藤正憲 2009.3 「古代オリエントの土器製作復原—土器焼成窯の構築と彩文土器の焼成実験—(日本オリエント学会第50回大会要旨)」『オリエント』51巻2号 159頁。
- 小磯学 2009.12 「インダス文明のピーズについて覚え書き」『環境変化とインダス文明 2008年度成果報告書』65-73頁 総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- 小磯学・小茄子川歩 2009.11 「インダス式印章のサイズとその意義」東海大学考古学研究室(編)『日々の考古学2』397-418頁 六一書房。
- 古代オリエント博物館(編)2009.7 『古代オリエントの世界』山川出版社。
- 古代オリエント博物館・MIHO MUSEUM(編)2009.3 『ユーラシアの風新羅へ』山川出版社。
- 小茄子川歩 2009.12 「インド考古学通信(1)」『古代文化』61(3)。
- Konishi, M. 2009.12 Conservation of Surya Temple of Konarka (Orissa, India) and the Landscape Planning around the Site. *Bulletin of the Ancient Orient Museum* 28: 185-196.
- 小林登志子 2009.6 『楔形文字がむすぶ古代オリエント都市の旅』NHKカルチャーラジオ・歴史再発見 NHK出版。
- 小林由弥・長友恒人 2009.3 「熱ルミネッセンス法を用いたエン・ゲヴ遺跡におけるケースメート式城壁の年代測定」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』267-271頁 リトン。
- 小林由弥・長友恒人 2009.3 「熱ルミネッセンス法を用いたエン・ゲヴ遺跡における石灰窯の年代測定」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』273-

- 278頁 リトン。
- 紺谷亮一・クトゥル エムレ・フィクリ クラックオウル・津村宏臣 2009 「トルコ共和国カイセリ県における考古的一般調査2008」『ノートルダム清心女子大学紀要（文化学編）』33巻1号 37-46頁。
- Kontani, R. 2009.12 Pottery in the Latter Part of the Early Bronze Age: Gaziantep Archaeological Museum Collection. *Bulletin of the Ancient Orient Museum* 28: 53-64.
- 近藤二郎・吉村作治・菊地敬夫・柏木裕之・河合望・西坂朗子・高橋寿光 2009.3 「第1次ルクソール西岸アル=コーカ地区調査概報」『エジプト学研究』15号 39-70頁。
- 近藤英夫 2009.11 「2つのメルッハ」東海大学考古学研究室（編）『日々の考古学2』419-428頁 六一書房。
- 近藤康久 2009.5 「オマーン・パート青銅器時代遺跡群における迅速・簡便・低コストな写真測量調査」『日本情報考古学会講演論文集』6 44-51頁 日本情報考古学会。
- 近藤康久 2009.10 「紀元前3千年紀後半のオマーン半島における拠点間往来-最小コスト回廊分析と眺望解析による交通路推定の試み-」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生-西アジア考古学最前線-』227-240頁 同成社。
- 西藤清秀 2009.6 「パルミラにおける遺体の棺への納め方-頭の無い遺体からわかること-」『日本西アジア考古学会第14回総会・大会要旨集』54-60頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀 2009.4 「シリア・パルミラ遺跡の墓を掘る」『古代オリエントの都市遺跡-日本調査隊の活躍-日本西アジア考古学会・天理参考館共催公開セミナー要旨集』20-25頁 日本西アジア考古学会。
- 西藤清秀 2009.3 「西アジアの獣面文」古代オリエント博物館・MIHO MUSEUM（編）『ユーラシアの風 新羅へ』95頁 山川出版社。
- 西藤清秀 2008.12 「パルミラの墓に見る辟邪の要素」『第15回ヘレニズム～イスラーム考古学研究』46-53頁 ヘレニズム～イスラーム考古学研究会。
- 西藤清秀・濱崎一志・石川慎治・星 英司・吉村和昭 2009.7 「シリア・パルミラの墓から見た3次元画像の活用と展望」『日本文化財科学会第26回大会研究発表要旨集』106-107頁 日本文化財科学会。
- 西藤清秀・濱崎一志・中橋孝博・吉村和昭・佐藤聖聖・石川慎治・佐々木玉季 2009.3 「シリア・パルミラ遺跡の家屋墓を掘る-北墓地 129-b号墓の調査2008」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』95-100頁 日本西アジア考古学会。
- 齋藤正憲 2009.3 「エジプトの土器づくり民族誌：土器生産様式に関する民族考古学的研究」『西アジア考古学』10号 33-49頁。
- 坂本和子 2009.12 「金糸織物の発展-特に「納失失」について-」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 151-166頁。
- 坂本翼 2009.3 「紀元前1千年紀上スベアにおけるクシュ王国の形成-スベア全域における墓構造と遺跡分布の研究から-」『西アジア考古学』10号 1-17頁。
- 佐々木達夫 2009.3 「ディバと砂漠の遺跡の第1次発掘調査」『金沢大学歴史言語文化学系論集史学考古学』1号 105-175頁。
- 佐々木達夫 2009.6 「ユーラシア大陸における陶器生産技術の拡散と地域性」『物質文化史学論聚-加藤晋平先生喜寿記念論文集』315-328頁 北海道出版企画センター。
- Sasaki, T. 2009.10 Mutual Influence and Imitation of Mesopotamian and Chinese Ceramics in the Ninth to Tenth Centuries, *Scientific Research on Historic Asian Ceramics Proceedings of the Fourth Forbes Symposium at the Freer Gallery of Art*. 149-162. Archetype Publications 2009, Freer Gallery of Art, Washington DC.
- Sasaki, T., K. Koizumi, H. Sasaki, A. Tamura and S. Arai 2009.5 「Chemical Analysis of Bamiyan Ceramics and Its Provenance」羅・鄭主（編）『'09古陶磁科学技術7国際討論会論文集』181-193頁 上海科学技術文献出版社。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2009.3 「砂漠の民の生活跡-アラブ首長国連邦アブダビ首長国-」『今よみがえる古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』101-106頁 日本西アジア考古学会。
- 佐々木達夫・佐々木花江 2009.11 「世界遺産パーミヤーンと世界遺産候補ズバラの保護と活用」『金大考古』65号 28-35頁。
- Sasaki, H. and T. Sasaki 2009.3 Trade Ceramics from East and South East Asia Found on Archaeological Sites in UAE. *Second International Conference on the Archaeology of the United Arab Emirates*, 23-24. Ministry of Culture, Abu Dhabi.
- Sasaki, H. and T. Sasaki 2009.5 Chinese and Southeast Asian Ceramics Found at Archaeological Sites on the Coast of the Arabian Peninsula. *Confluence Exchanges in the Making of Asia*. 19-30. 国立故宫博物院 台北。
- Sasaki, H. and T. Sasaki 2009.12 Chinese and Southeast Asian Ceramics Found at the Archaeological Sites on the Arabian Peninsula. *National Palace Museum Bulletin* 42: 21-31. Taipei.
- 佐藤育子 2009.1 「古代カルタゴとローマ展に学ぶ」『史艸』50号 156-168頁 日本女子大学史学研究会。
- 佐藤育子 2009.6 「カルタゴの宗教と神々」『The Legacy of Carthage (「古代カルタゴとローマ展」図録)』148-149頁 東映株式会社。
- 佐藤育子 2009.7 「尊重・共生・自信-ある海洋国家から学ぶもの」『週刊 e-World』7月15日号 巻頭言 時事通信社。
- 四角隆二 2009.3 「ガラス器」古代オリエント博物館・MIHO MUSEUM（編）『ユーラシアの風 新羅へ』34-52頁 山川出版。
- 柴田大輔 2009.10 「前2千年紀後半アッシリア統治下における地方拠点都市-景観、行政、祭祀-」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生-西アジア考古学最前線-』213-226頁 同成社。
- Shibata, D. and S. Yamada 2009 The Cuneiform Texts from the 2007 Excavations at Tell Taban: a Preliminary Report. In H. Numoto (ed.), *Excavations at Tell Taban, Hassake, Syria: Preliminary Report on the 2007 Season of Excavations, and the Study of Cuneiform Texts*, 87-109. Tokyo, Kokushikan University.
- Shudai, H, A. Konasukawa, H. Endo and S. Kimura 2009.3 Report on the Survey of the Archaeological Materials of Prehistoric Pakistan Stored in Aichi Prefectural Ceramic Museum. Part 1: Painted Pottery of Nal Ware. *Bulletin of the Tsurumi University: Studies in Humanities, Social and Natural Sciences* 46 (4): 75-108.
- 杉本智俊 2009.3 「鉄器時代の土器」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造（編）『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』29-89頁 リトン。
- 杉本智俊 2009.3 「ゲシュル地方と新ヒッタイト文化」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造（編）『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』195-237頁 リトン。
- 杉本智俊 2009.5 「新ヒッタイト文化とイスラエル都市」『聖書の世界』18号 3-13頁 聖書考古学資料館。
- 杉本智俊 2009.6 「<旧約聖書>解釈の広がりを捉えるために」『説教黙想アレテア』特別増刊号 35-42頁 日本キリスト教団出版局。
- 須藤寛史 2009.3 「古代西アジアにおける回転運動の利用について」

- 『岡山市立オリエント美術館研究紀要』23巻 33-44頁。
- 関廣尚世 2009.6「スーダン共和国におけるヌビア遺跡群の現状と課題」『日本西アジア考古学会第14回総会・大会要旨集』73-78頁 日本西アジア考古学会。
- 千本真生 2009.6.「カラノヴォ編年の現在」『考古学の扉』2号 55-72頁「考古学の扉」同人会。
- 千本真生 2009.11「ブルガリア、テル・デヤドヴォ遺跡の前期青銅器時代土器とその編年の位置づけ」東海大学文学部考古学研究室編『日々の考古学2』429-444頁 六一書房。
- 田辺勝美 2009.12「ガンダーラ美術の図像学的研究(2) クシヤン人 在家菩薩像について-聖紐と仏龕を中心に」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 91-126頁。
- 谷一尚 2009.3「唐招提寺舎利瓶にみるイスラムガラスの東アジア流入」『BI、東京大学東洋文化研究所超域連携研究プログラム「アジアの『美』の構築」Annual Report」Vol.3 3-20頁/42-43頁 東京大学東洋文化研究所。
- 谷一尚 2009.8「第七章出土器物、第三節一、東羅馬(東ローマ)金貨」「第六節、玻璃器」「第七節、水晶器」、原州聯合考古隊『北周田弘墓』(原州聯合考古隊発掘調査報告之二、寧夏文物考古研究所叢刊之十三) 86-88頁/101-103頁 文物出版社 北京。
- Tazawa, K. 2009.7 *Syro-Palestinian Deities in New Kingdom Egypt: The hermeneutics of their existence*. BAR International Series 1965. Oxford, Archaeopress.
- 田澤恵子 2009.9「『創造』あるいは『再輸入』? -古代エジプト新王国時代における女神ケデシトの図像表現」『オリエント』52巻1号 63-83頁。
- 丹野研一 2009.10「農耕のはじまりとその展開」西秋良宏・木内智康(編)『農耕と都市の発生-西アジア考古学最前線-』17-30頁 同成社。
- 月本昭男 2009.10『図説 地図とあらすじでわかる! 聖地エルサレム』青春出版社(青春新書)。
- 月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)2009.3『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』リトン。
- 月本昭男・長谷川修一 2009.3「エン・ゲヴ遺跡について」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造(編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告1998-2004』7-12頁 リトン。
- Tsuneki, A. 2009.3 The Archaeology of Death in the Late Neolithic: a View from Tell el-Kerkh. *Abstract for Interpreting the Late Neolithic of Upper Mesopotamia*, March 26-28, 2, Leiden.
- Tsuneki, A. 2009.8 Chapter 2. Tell Type Settlements around Tell Mastuma. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 11-54. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Tsuneki, A. 2009.8 Chapter 3.3. Neolithic and Early Bronze Age Layers in Square 15Gc. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida, and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 69-88. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- 常木 晃 2009.9「西アジアにおける農耕文化の始まり」設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦(編)『弥生時代の考古学5:食糧の獲得と生産』78-93頁 同成社。
- Tsuneki, A. (ed.) 2009.10 *The Emergence of Pottery in West Asia: the Search for the Origin of Pyrotechnology. Presentation Summaries. October 29- November 1*. Department of Archaeology, University of Tsukuba.
- Tsuneki, A. 2009.11 Ethno-Archaeological Research on the Modern Cemeteries of Ghanem al-Ali Village. In *International Symposium: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. November 21-23. Abstracts*, 16-18, Tokyo.
- 常木 晃 2009.12「国際シンポジウム「西アジアにおける土器の出現:パイロテクノロジーの原点を求めて」を終えて」『Newsletterセム系部族社会の形成』16 1-5頁 科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成 ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」。
- 常木 晃・小高敬寛・長谷川敦章・村上尚子 2009.3「新石器時代の巨大集落-シリア、テル・エル・ケルク遺跡の2008年度調査-」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』34-39頁 西アジア考古学会。
- Tsuneki, A. and J. Hydar 2009.9 *Tell el-Kerkh 2007 Chronique Archéologique en Syrie: Volume 3, 2008*, 75-85. Direction General des Antiquities et des Muses.
- 常木 晃・三宅 裕・西秋良宏 2009.9「西アジア」石田恵子・津本英利(編)『世界の土器の始まりと造形』26-37頁 古代オリエント博物館。
- 津村眞輝子 2009.3「初期イスラーム時代の貨幣制度」『イスラム科学研究』5号 187-194頁。
- 津村眞輝子 2009.12『中川コレクションIIコイン編』馬の博物館。
- 津本英利 2009.2「我がエクソダスの記」『オリエンテ』38号 10-17頁 古代オリエント博物館。
- 津本英利 2009.8「新収蔵品紹介『赤色磨研紡錘形土器』」『オリエンテ』39号 1-4頁 古代オリエント博物館。
- 津本英利 2009.9「ウラルトゥの長剣について その系譜、分布と政治的背景」『オリエント』52巻1号 119-137頁。
- Tsumoto, H. 2009.8 Chapter 8.2. "Horseman" Figurines. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 459-472. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- 寺村裕史・山口欧志・宇野隆夫・岸田徹・伊藤孝・竹内侑子 2009.12「考古学 GIS 班の2008年度活動報告」『環境変化とインダス文明 2008年度成果報告書』57-63頁 総合地球環境学研究所・インダスプロジェクト。
- Dougherty, S. P., M. J. Hudson and M. Yoneda 2009.8. Appendix 1. Human Skeletal Remains. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 513-519. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- 道明三保子 2009.12「中央アジア出土の唐代胡服」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 167-184頁。
- Nakai, Y. 2009「Persian Conquest of the Asia Minor and its influence」『古代史年報』7号 1-9頁。
- 那須浩朗・本郷一美・藤井純夫 2008「ワディ・アブ・トレイハミヨルダン南部の遊牧拠点」『植生史研究』16巻2号 35-36頁。
- 西秋良宏 2009.3「イラン北部、ラスルカン遺跡「ブレ・セラミック」層出土の偽石器」『ラーフィダーン』30巻1-14頁。
- 西秋良宏 2009.10「序論 農耕・都市発生の時代」西秋良宏・木内智康(編)『農耕と都市の発生-西アジア考古学最前線-』5-14頁 同成社。
- Nishiaki, Y. 2009.12 Reflections on the Paleolithic and Neolithic Sites Investigated by the University of Tokyo Mission in the Palmyra Basin, Syria (1967-1984). *Bulletin of the Ancient Orient Museum* 28: 9-22.
- 西秋良宏・門脇誠二・有松 唯 2009.11「トランスコーカサス地方新石器時代研究の現状と課題-シュラベリ・シヨム文化を中心に」『岡山市立オリエント美術館研究紀要』23巻 1-25頁。
- 西秋良宏・木内智康(編)2009.10『農耕と都市の発生-西アジア考

- 古学最前線-』同成社。
- Nishiaki, Y., S. Kadowaki and S. Kume 2009.3 Archaeological Survey around Tell Ghanem al-'Ali. In K. Ohnuma and A. Al-Khabour (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Fifth Working Season. Al-R fid n 30*: 145-153.
- 中田一郎 2009.8 「古代オリエントの物語に見られるお世継ぎ問題」『オリエンテ』39号 5-9頁 古代オリエント博物館。
- Nishiyama, S. 2009.8 Other objects. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 473-504. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Nishiyama, S. 2009.8 Appendix 2. Radiocarbon Dating. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds.), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 520-528. *Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III*. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- 西山要一 2009.11 『レバノン共和国壁画地下墓の修復 ブルジュ・アル・シャマリ所在ローマ時代壁画地下墓 T.01 修復 2009 年度概要報告』奈良大学。
- Numoto, H. and S. Kume 2009.3 Cleaning and Survey of the Early Bronze Age Hilltop Tombs near Tell Ghanem al-'Ali. In K. Ohnuma and A. Al-Khabour (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Sixth working Season. Al-R fid n 30*: 172-180.
- Numoto, H. and S. Kume 2009.3 Archaeological Survey of the Early Bronze Age Off-Site Tombs near Tell Ghanem al-'Ali. In K. Ohnuma and A. Sultan (eds.), *Archaeological Research in the Bishri Region: Report of the Seventh Working Season. Al-R fid n 30*: 193-198.
- Numoto, H. and S. Kume 2009.11 Survey and Sondage at the Cemeteries near the Site of Tell Ghanem al-'Ali. In *International Symposium: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. November 21-23. Abstracts*, 12, Tokyo.
- 芳賀 満・古庄浩明・内記 理 2009.3 「中央アジアのギリシア系都市を掘る -ウズベキスタン共和国カンピール・テバ遺跡第3次発掘調査」『考古学が語るオリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』125-130頁 日本西アジア考古学会。
- 芳賀 満 2009.4 「中央アジアのギリシア系都市を掘る -ウズベキスタン共和国カンピール・テパー」『古代オリエントの都市遺跡 -日本調査隊の活躍-』13-19頁 日本西アジア考古学会。
- 芳賀 満 2009.12 「俗と聖の接吻 -中央ユーラシア新出の「ディオニュソスとアリアドネ」テラコッタを中心として古代地中海世界から中国まで」『西洋美術研究』15号 16-39頁。
- 長谷川敦章 2009.11 「紀元前三千年紀におけるユーフラテス河中流域の集落と墓域の関連性 -テル・ガーネム・アル・アリ出土人物形土製品の検討から-」西秋良宏・木内智康 (編) 『農耕と都市の発生 -西アジア考古学最前線-』143-157頁 同成社。
- Hasegawa, A. 2009.11 Sondage at the Site of Tell Ghanem al-'Ali. In *International Symposium: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. November 21-23. Abstracts*, 7-9, Tokyo.
- 長谷川敦章・常木 晃 2009.10 「青銅器時代ユーフラテス河中流域の拠点集落 -テル・ガーネム・アル・アリ遺跡の発掘調査 2009 -」『日本オリエント学会第51回大会公開講演・研究発表要旨集』63頁 日本オリエント学会。
- 長谷川修一 2009.2 「テル・レヘシュ遺跡第四次発掘調査」『イスラエル考古学研究会ニュースレター』7 1-6頁。
- 長谷川修一 2009.3 「アフエク (列王記上 20章、下 13章) とエン・ゲヴの同定」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編) 『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』183-194頁 リトン。
- 長谷川修一 2009.9 書評「杉本智俊著『図説 聖書考古学 旧約篇』河出書房新社 2008年」『オリエント』52巻1号 169-174頁。
- 長谷川修一 2009.10 「天理参考館所蔵 コス式アンフォラ」『天理参考館報』22号 5-17頁。
- 長谷川修一・月本昭男 2009.3 「イスラエル、テル・レヘシュ遺跡 2008年 (第4次) 発掘調査」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』86-90頁 日本西アジア考古学会。
- 長谷川奏 2009.4 「古代エジプトの都市をめぐる伝統と革新」『古代オリエントの都市遺跡 -日本調査隊の活躍 -日本西アジア考古学会・天理参考館共催公開セミナー要旨集』7-12頁 日本西アジア考古学会。
- Hasegawa, S. and P. Yitzhak 2009 Tel 'En Gev: Preliminary Report. *Hadashot Arkheologiyot* 121 (http://www.hadashot-esi.org.il/report_detail_eng.asp?id=1013&mag_id=115).
- 花坂 哲 「アコリス遺跡における「豊饒の民間信仰」 -土製ヒト形小像から探る-」『筑波大学先史学・考古学研究』20号 51-74頁。
- 林 俊雄 2009.2 『遊牧国家の誕生』世界史リブレット 98 山川出版社。
- 日野 宏 2009.3 「下層列柱式建物」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編) 『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』21-24頁 リトン。
- 日野 宏 2009.3 「ローマ時代の石灰窯について」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編) 『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』169-178頁 リトン。
- 平川敬治 2009.3 「ガリラヤ湖 (キンネレット湖) を中心とする漁撈活動の歴史的展開」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編) 『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』239-255頁 リトン。
- 平川敬治 2009.3 「生活用具に見るエン・ゲヴ遺跡の石製品と土製品」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編) 『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』257-266頁 リトン。
- フィンケルシュタイン, I・N. A. シルバーマン (越後屋朗訳) 2009.6 『発掘された聖書 最新の考古学が明かす聖書の真実』教文館。
- 藤井純夫 2009.3 「新石器時代ヨルダンの移牧春营地: ワディ・アブ・トレイハの第6次調査 (2008)」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』28-33頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫 2009.3 「セム系遊牧部族の墓制に関する比較研究」大沼克彦編 『セム系部族社会の形成 平成19年度研究報告』30-35頁。
- 藤井純夫 2009.3 「遊牧部族の形成; カア・アブ・トレイハ西遺跡におけるケルン墓造営集団の分層化」大沼克彦編 『セム系部族社会の形成 平成19年度研究報告』91-92頁。
- 藤井純夫 2009.3 「沙漠のドメスティケーション ミヨルダン南部ジャフル盆地における遊牧化過程の考古学的研究」山本紀夫 (編) 『ドメスティケーション ミその民族生物学的研究』519-553頁 (国立民族学博物館調査報告 84)。
- 藤井純夫 2009.12 「チータ狐の起源 -ワディ・アブ・トレイハ遺跡出土の新資料から」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 23-38頁。
- 藤井純夫 2009.2 「我が肝炎人生 (下)」西アジア考古学会『ニュースレター』8頁。
- 藤井純夫・足立拓朗 2009.1 「ケルン墓群の分布と部族・氏族の相関」大沼克彦 (編) 『セム系部族社会の形成 第5回公開シンポジウム発表要旨集』。
- 藤井純夫・足立拓朗 2009.3 「ルジュム・ヘダージェ1: ビシュリ山系北麓青銅器時代ケルン墓群の調査」『考古学が語る古代オリ

- エント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』70-75頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫・足立拓朗 2009.3「ビシュリ山系北麓ケルン墓群の第一次～第三次発掘調査」『Newsletter セム系部族社会の形成』14 6-10頁 科学研究費補助金特定領域研究「セム系部族社会の形成ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究」。
- Fujii, S. 2008 Wadi Abu Tulayha: a Preliminary Report of the 2007 Summer Field Season of the Jafr Basin Prehistoric Project, Phase 2. *Annual of the Department of Antiquities of Jordan* 52: 445-478.
- Fujii, S. 2008 Wadi Abu Tulayha 2008: a Neolithic Outpost and Cistern in Hamada. *Munjazat* 2008.
- Fujii, S. 2009.5 A Half-Buried Cistern at Wadi Abu Tulayha: a Key to Tracing the Pastoral Nomadization in the Jafr Basin, Southern Jordan. *Jordan's Prehistory: Past and Future Research*. 25-28 May, 2009, Amman.
- Fujii, S. and T. Adachi 2009.11 Archaeological Investigations of Bronze Age Cairn Fields in the Northwestern Flank of Mt. Bishri. In *International Symposium: Formation of Tribal Communities: Integrated Research in the Middle Euphrates, Syria. November 21-23. Abstracts*, 14, Tokyo.
- Fujii, S., T. Adachi and K. Suzuki 2009 The Second Field Season at Rujum Hedaja 1. In M. al-Maqdissi and K. Ohnuma (eds.), Preliminary Reports of the Syria-Japan Archaeological Joint Research in the Region of ar-Raqqa, Syria, 2008. *Al-R fid n* 30: 180-187.
- Fujii, S., T. Adachi and K. Suzuki 2009 The Soundings of the Hedaja Cairn Field, the Northwestern Flank of Jebel Bishri. In M. al-Maqdissi and K. Ohnuma (eds.), Preliminary Reports of the Syria-Japan Archaeological Joint Research in the Region of ar-Raqqa, Syria, 2008. *Al-R fid n* 30: 216-223.
- Fujii, H. 2009.12 Necessity for National Legislations to Control the Illicit Import of Archaeological Objects. *Bulletin of the Ancient Orient Museum* 28: 197-208.
- Horioka, H. 2009.6 Additional Early Dynastic Tablets Possibly from Mari. *Orient* 44: 121-150.
- 前田 修 2009.9「石器のマテリアリティー西アジア新石器時代における黒曜石の意味と役割について」『オリエント』52巻1号 1-26頁。
- 前田 修 2009.10「石器利用が進める新石器化の様相」西秋良宏・木内智康 (編)『農耕と都市の発生ー西アジア考古学最前線ー』83-98頁 同成社。
- Maeda, O. 2009 *The Materiality of Obsidian and the Practice of Obsidian Use in the Neolithic Near East*. A thesis submitted to The University of Manchester for the degree of PhD.
- 牧野久実 2009.3「ベルシャ時代の土器」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』101-110頁 リトン。
- 牧野久実 2009.3「ヘレニズム時代の土器」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』119-166頁 リトン。
- 牧野久実 2009.3「ヘレニズム時代のエン・ゲヴ」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』167-168頁 リトン。
- 増森海笑 D. 2009「ナトゥーフ文化研究ノート」『東海史學』43号 97-223頁。
- 三宅 裕 2009.3「西アジアにおける土器の起源を探る：トルコ、サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡第4次調査 (2008年)」『今よみがえる古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』40-45頁 日本西アジア考古学会。
- Miyake, Y. 2009.5 Diyarbakır 4i, Salat Camii Yanı Kazısı. 30. *Kazı Sonuçları Toplantısı*, 2. Cilt: 101-112.
- 三宅 裕 2009.9「西アジアからみた弥生文化の家畜飼育」設楽博己・藤尾慎一郎・松木武彦 (編)『弥生時代の考古学 5 食糧の獲得と生産』143-155頁 同成社。
- 三宅 裕 2009.9「サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡」『世界の土器の始まりと造形』29-30頁 古代オリエント博物館。
- 三宅 裕 2009.12「古代メソポタミアにおける乳利用と乳製品」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 39-51頁。
- 三宅 裕・前田 修・田尾誠敏・本郷一美・丹野研一・吉田邦夫 2009.3「サラット・ジャーミー・ヤヌ遺跡 (トルコ共和国) 発掘調査概報：2004-2008年」『筑波大学先史学・考古学研究』20号 75-112頁。
- 山内和也・有村 誠 2009「タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業ー2008年度の成果ー」『考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』114-119頁 日本西アジア考古学会。
- 山内紀嗣 2009.3「上層列柱式建物」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』25-27頁 リトン。
- 山内紀嗣 2009.3「ペルシア時代の遺構」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』99-100頁 リトン。
- 山内紀嗣 2009.3「ヘレニズム時代の遺構」月本昭男・長谷川修一・小野塚拓造 (編)『エン・ゲヴ遺跡発掘調査報告 1998-2004』111-118頁 リトン。
- 山内紀嗣 2009.4「オリーブの町テル・レヘシュ」『古代オリエントの都市遺跡ー日本調査隊の活躍ー日本西アジア考古学会・天理参考館共催公開セミナー要旨集』1-6頁 日本西アジア考古学会。
- 山田重郎 2009.2「タバトゥム市とその周辺ーポスト・ハンムラビ時代のハブル川下流域とユーフラテス川中流域における政治的・社会的・文化的諸相」前川和也編『シリア・メソポタミア世界の文化接触：民族・文化・言語』86-95頁 (特定領域研究「セム系部族社会の形成」平成20年度研究集会報告)。
- Yamada, S. 2009 History and Ideology in the Inscriptions of Shalmaneser III: an Analysis of Stylistic Changes in the Assyrian Annals. In I. Eph'al and N. Na'aman (eds.), *Royal Assyrian Inscriptions: History, Historiography and Ideology. A Conference in Honour of Hayim Tadmor on the Occasion of His Eightieth Birthday. 2- November 2003*, vii-xxx, Jerusalem, The Israel Academy of Sciences and Humanities.
- 山花京子 2009.4『初めての古代エジプトー新王国時代編ー』星雲社。
- Yamahana, K. 2009.6 Two Roman Egyptian Vessels in MECCJ. *Orient* 44: 151-158.
- 山花京子 2009.11「古代エジプトでの地中海文化の受容ーギリシア・ローマ時代の浮彫付壺の様相変遷を追うー」東海大学文学部考古学研究室編『日々の考古学 2』459-472頁 六一書房。
- 山藤正敏 2009.10「南レヴァントにおける広域分布土器の生産体制ー硬質土器 (Metallic Ware) の分析からー」西秋良宏・木内智康 (編)『農耕と都市の発生ー西アジア考古学最前線ー』同成社 169-190頁。
- 横浜ユーラシア文化館 (編) 2009.1『西アジアに迫るー江上波夫のまなざしー』横浜ユーラシア文化館。
- 横浜ユーラシア文化館 (編) 2009.9『EurAsia 3000年ー海と陸のシルクロードー』横浜ユーラシア文化館。

- 横張和子 2009.12 「サミット（綾地緯錦）論考」『古代オリエント博物館研究紀要』28号 127-150頁。
- 吉村作治 2009.5 『古代エジプト・クフ王「第1の船」の復原に関する研究』アケト。
- 吉村作治・近藤二郎・河合望・柏木裕之・西坂朗子・高橋寿光 2009.3 「発掘調査概要」『エジプト学研究』別冊13号 15-29頁。
- リヨネル・グリション 2009.10 「西アジア北部の新石器化と動物資源利用」西秋良宏・木内智康（編）『農耕と都市の発生－西アジア考古学最前線－』31-46頁 同成社。
- Wakita, S. 2009.8 Chapetr 1. Introduction. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 3-10. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wakita, S. 2009.8 Chapter 3.2. North Trench. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 62-68. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wakita, S. 2009.8 Concluding Remarks. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 507-509. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wada, H. 2009.8 Chapetr 3.1. Overall Stratigraphy. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 55-61. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wada, H. 2009.8 Chapetr 4. Stratum I-2: Features and Pottery. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 91-299. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wada, H. 2009.8 Chapetr 5. Stratum I-1: Features and Pottery. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 303-336. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wada, H. 2009.8 Chapetr 6. Review of Stratum I. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 339-398. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.
- Wada, H. 2009.8 Chapetr 7. Stratum 0. In T. Iwasaki, S. Wakita, K. Ishida and H. Wada (eds), *Tell Mastuma: an Iron Age Settlement in Northwest Syria*, 401-434. Memoirs of Ancient Orient Museum Vol. III. Tokyo, Ancient Orient Museum.